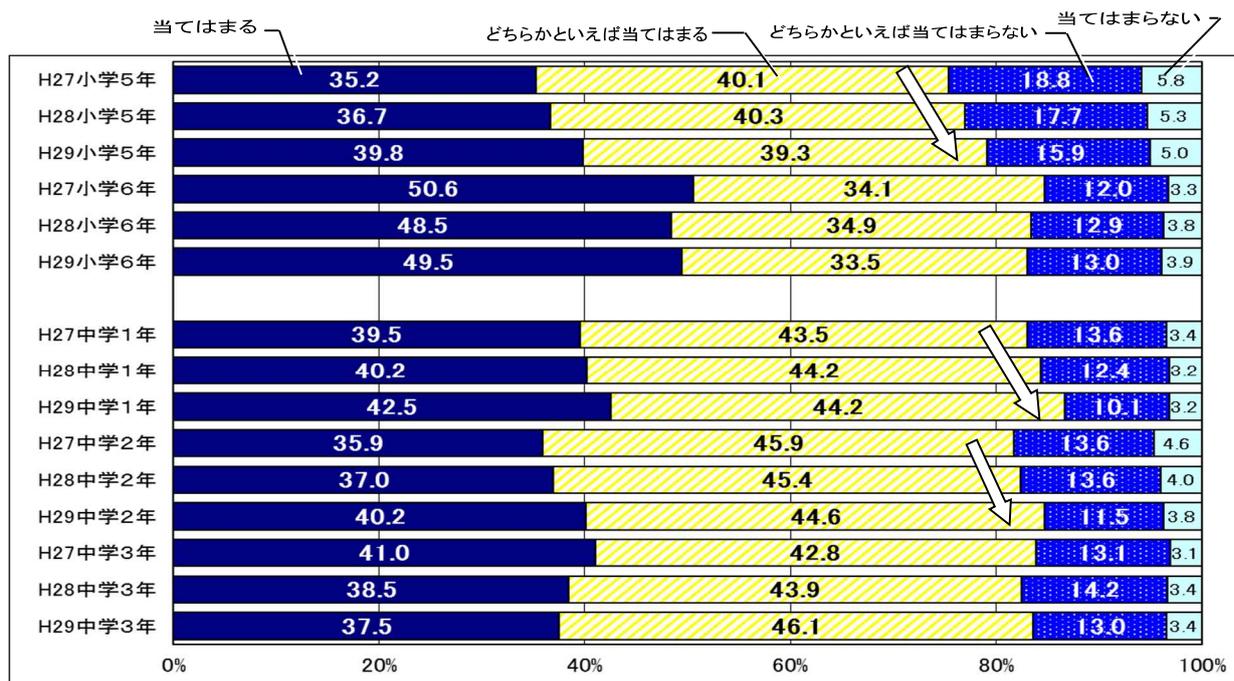


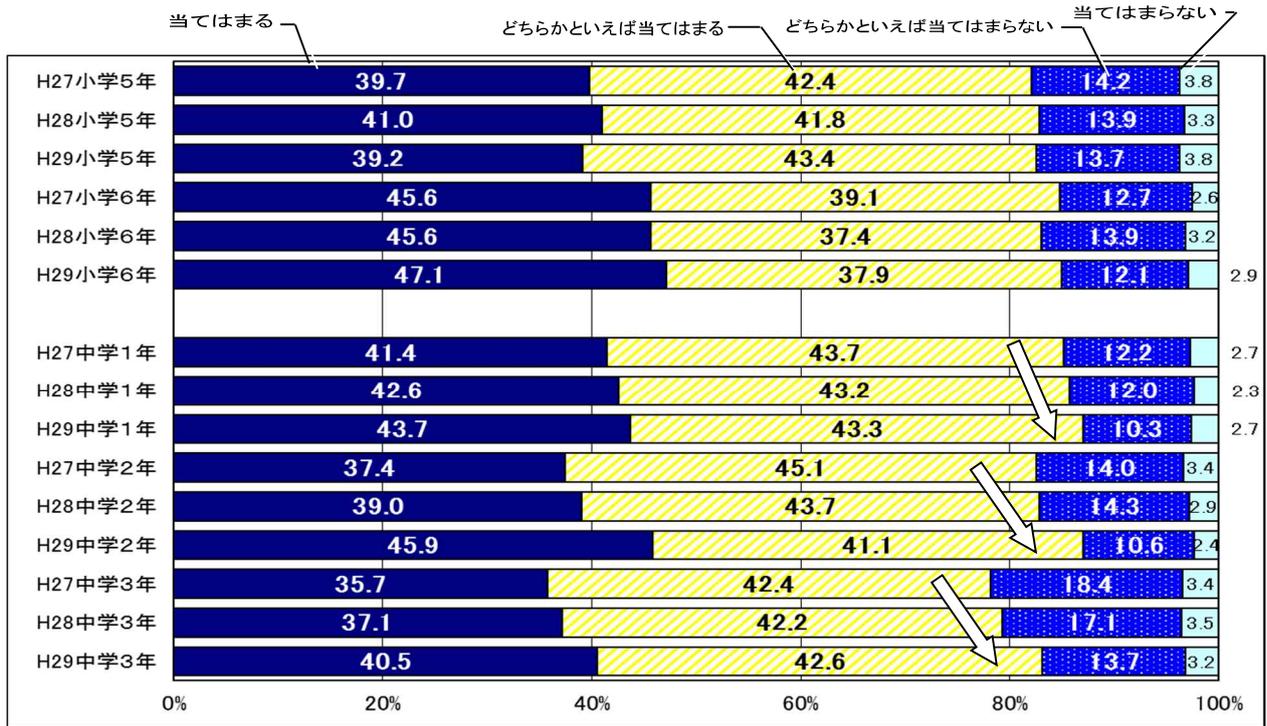
(2) 学校での学習について

- 「授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思う」という問いに対して肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学5年、中学1年、中学2年で増加している。中学3年では、前年度を上回っている。「授業では、学級の友達（生徒）の間に話し合う活動をよく行っていると思う」という問いに対して肯定的な回答をした児童生徒の割合は、中学1年、中学2年、中学3年で増加している。小学6年では、前年度を上回っている。いずれの問いについても、肯定的な回答をした児童生徒の正答率はそうでない児童生徒と比較して高い。
[グラフ 16-1、16-2、17-1、17-2]
- 「学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりするのは難しい」という問いに対して否定的な（難しいと）回答をした児童生徒の割合は、小学6年、中学2年で減少している。肯定的な（難しくないと）回答をした児童生徒の正答率はそうでない児童生徒と比較して高い。[グラフ 18-1、18-2]
- 「授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていると思う」という問いに対して肯定的な回答をした児童生徒の割合は概ね8割～9割で、中学1年以外の全ての学年で前年度を上回っている。小学校では、肯定的な回答をした児童生徒の正答率はそうでない児童生徒と比較して高い。[グラフ 19-1、19-2]
- 各教科の学習活動に関する児童生徒の意識調査の結果を経年で見ると、多くの項目において、肯定的な回答をした児童生徒の割合が増加している。
(増加している項目は 小5 11問/13問中、小6 7問/7問中、中1 6問/13問中、中2 11問/16問中、中3 5問/7問中) [表 1]

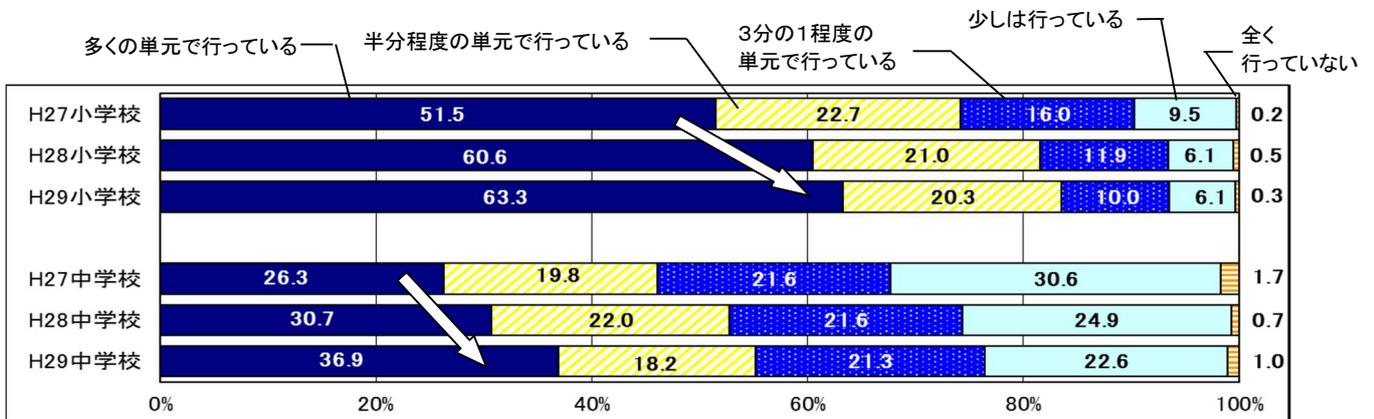
[グラフ 16-1] 授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思う。
平成 27～29 年度「同一学年」の経年比較



[グラフ 17-1] 授業では、学級の友達(生徒)の間で話し合う活動をよく行っていると思う。
平成 27~29 年度「同一学年」の経年比較

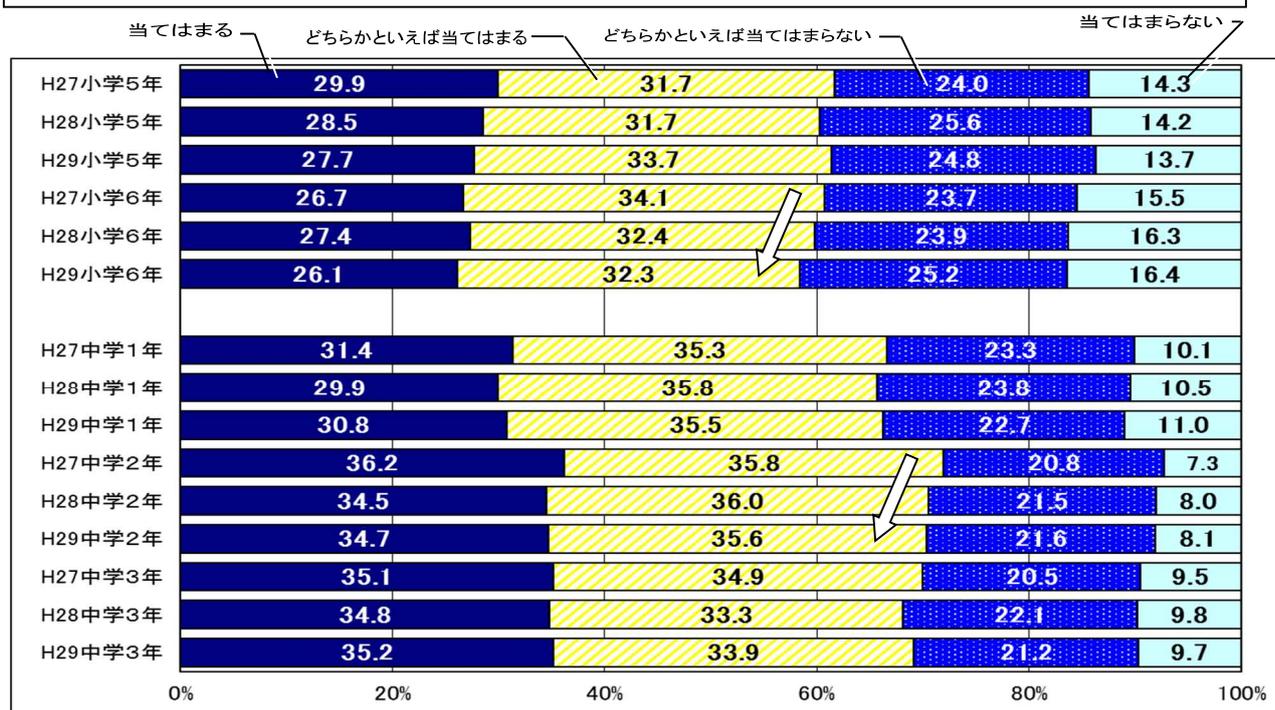


[参考 1] 発表や話し合い活動など表現し、考えを広げたり深めたりする活動を取り入れた授業を行っていますか。※教師意識調査より 平成 27~29 年度の経年比較

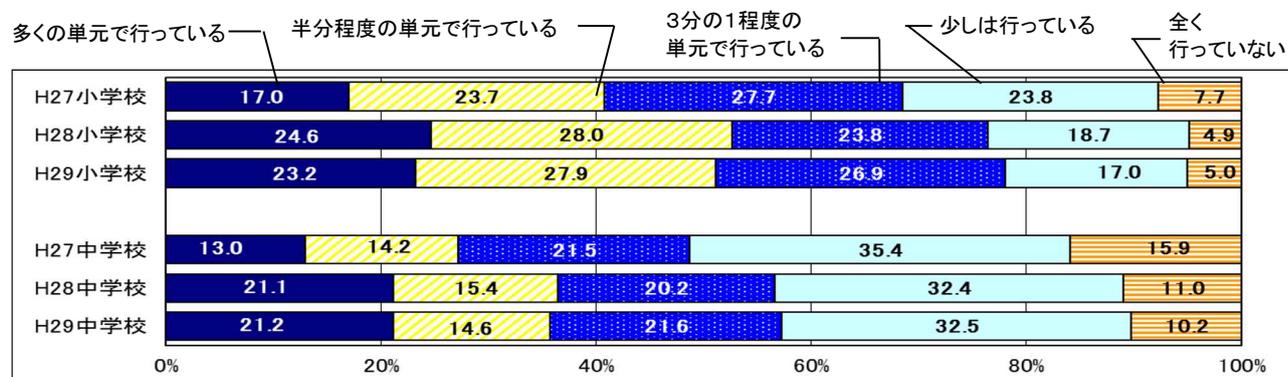


・参考として、教師意識調査において、発表や話し合い活動など表現し、考えを広げたり深めたりする活動を取り入れた授業を「多くの単元で行っている」と回答した教師の割合は、小学校、中学校ともに増加している。[参考 1]

[グラフ 18-1] 学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりするのは難しい。平成 27～29 年度「同一学年」の経年比較



[参考 2] レポートや作文など、書いて表現する活動を取り入れた授業を行っていますか。
※教師意識調査より 平成 27～29 年度の経年比較



・参考として、教師意識調査において、レポートや作文など、書いて表現する活動を取り入れた授業を「多くの単元で行っている」と回答した教師の割合は小学校では前年度を下回っており、中学校では前年度とほぼ同じである。[参考 2]

[グラフ 16-2]

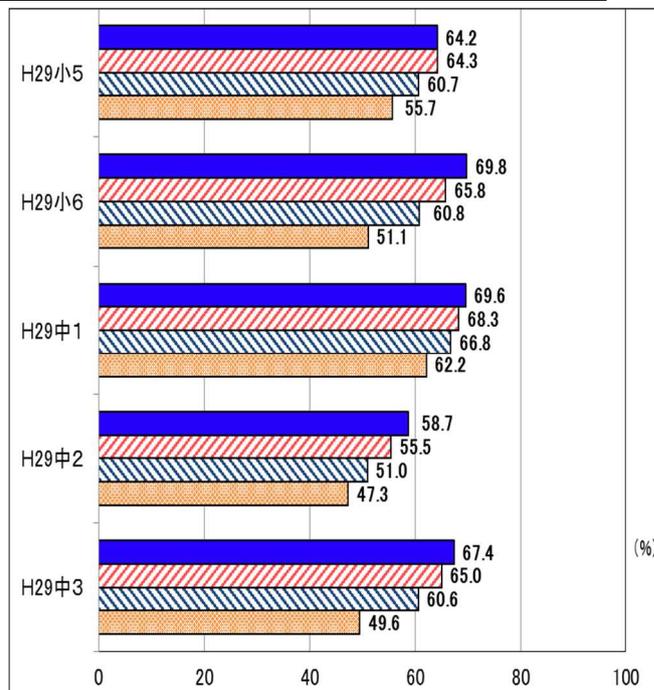
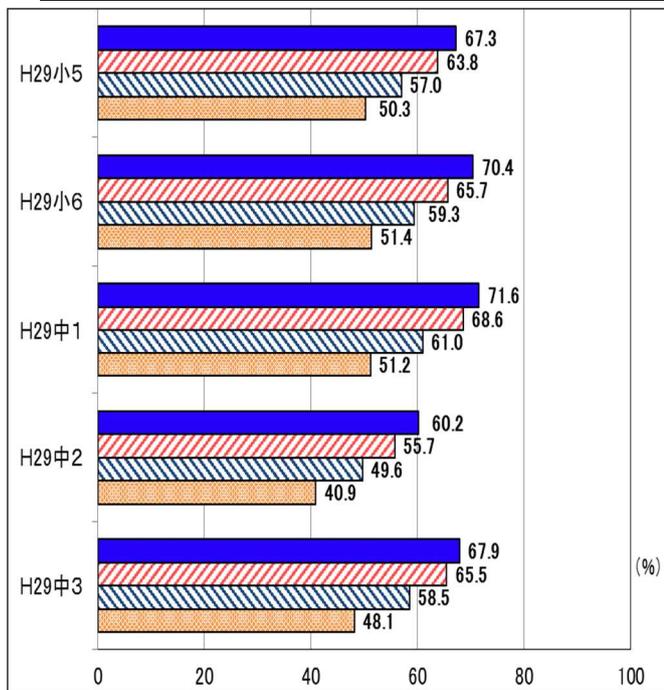
「授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思う」の質問に対する回答と教科(国語、算数・数学)平均正答率とのクロス集計結果

[グラフ 17-2]

「授業では、学級の友達(生徒)の間に話し合う活動をよく行っていると思う」の質問に対する回答と教科(国語、算数・数学)平均正答率とのクロス集計結果

※児童生徒の回答は、上から

「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまらない」、「当てはまらない」の順



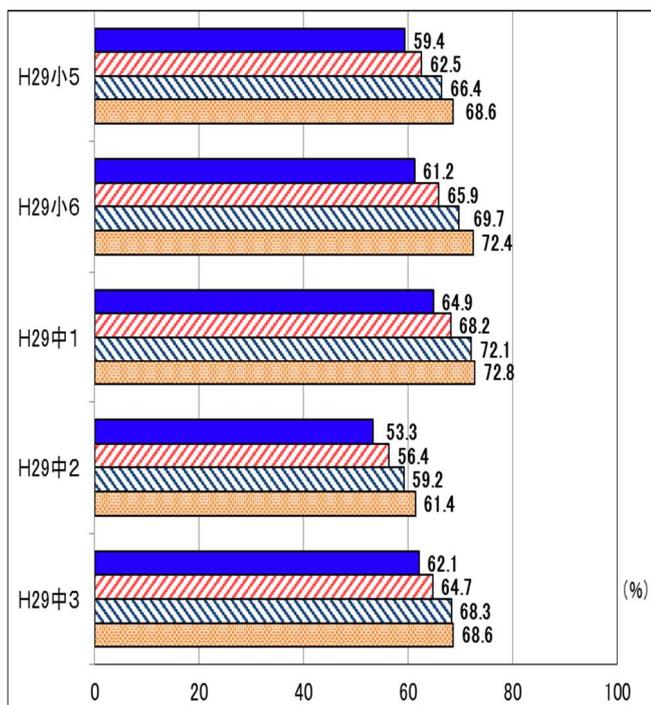
[グラフ 18-2]

「学校の授業などで、自分の考えをほかの人に説明したり、文章に書いたりするのは難しい」の質問に対する回答と教科(国語、算数・数学)平均正答率とのクロス集計結果

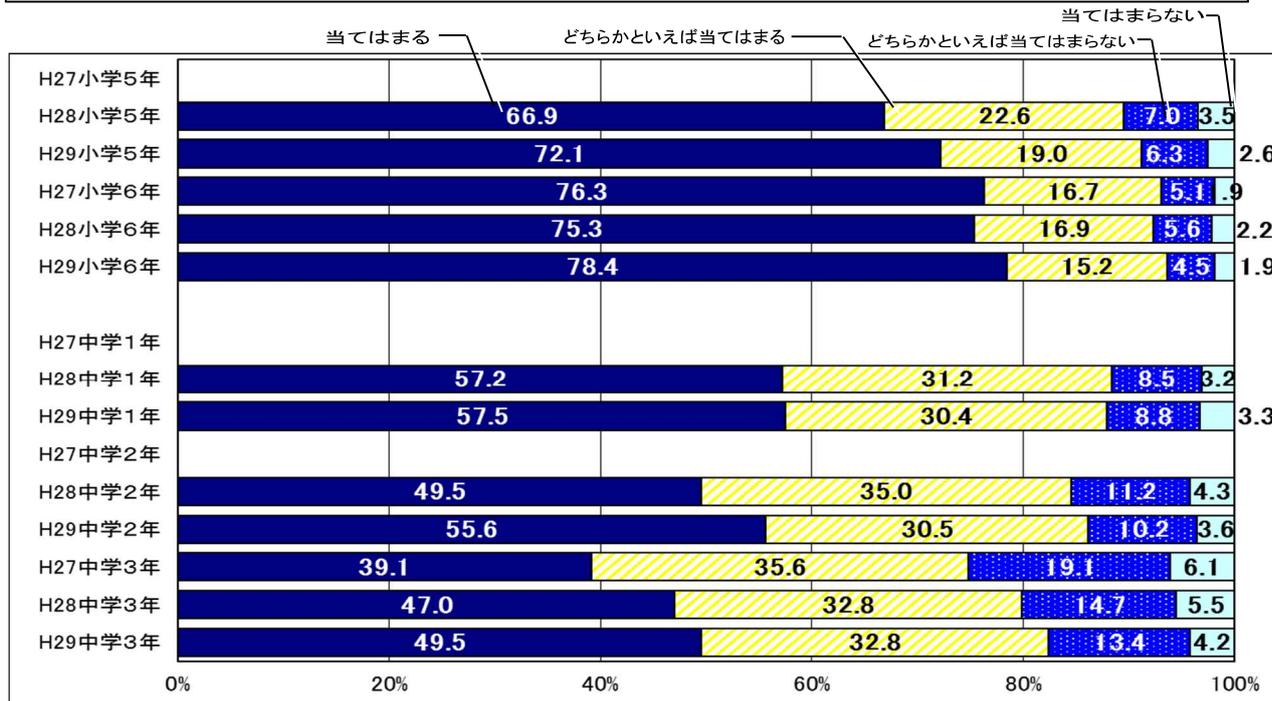
・「授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思う」と回答をした児童生徒の正答率は、そうでない児童生徒と比較して高い。[グラフ 16-2]

・「授業では、話し合う活動をよく行っていると思う」という問いについても、同様の傾向がみられる。[グラフ 17-2]

・「学校の授業などで、自分の考えをほかの人に説明したり、文章に書いたりすることは難しい」と回答した児童生徒の正答率は、そうでない児童生徒と比較して低い。[グラフ 18-2]

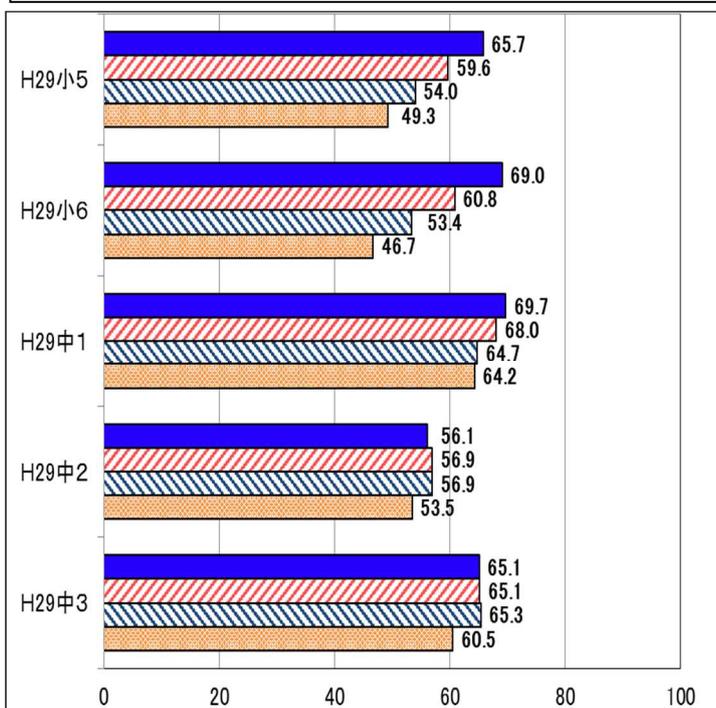


[グラフ 19-1] 授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていると思う。



※ 全国調査の質問紙調査に合わせて、平成 28 年度から県調査の意識調査に追加した質問項目であるため、H27 の小学 5 年、中学 1 年、中学 2 年のデータはない。

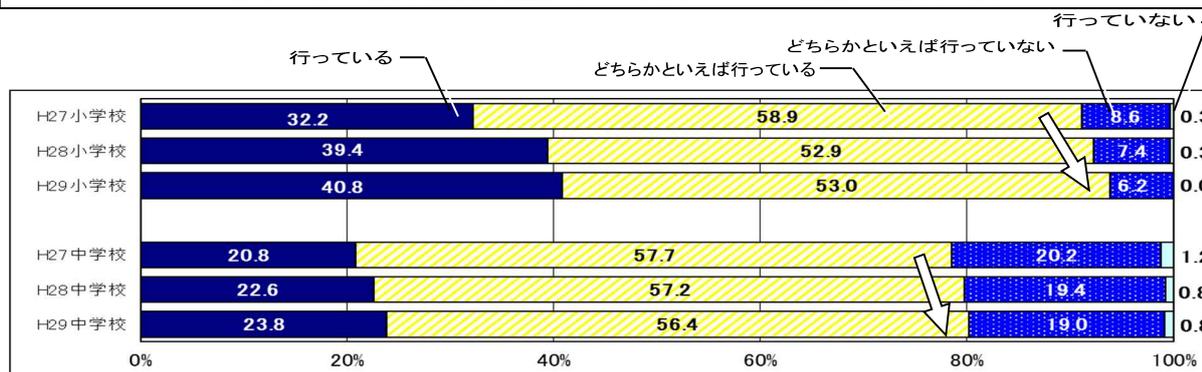
[グラフ 19-2] 「授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていると思う。」の質問に対する回答と教科(国語、算数・数学)平均正答率とのクロス集計結果



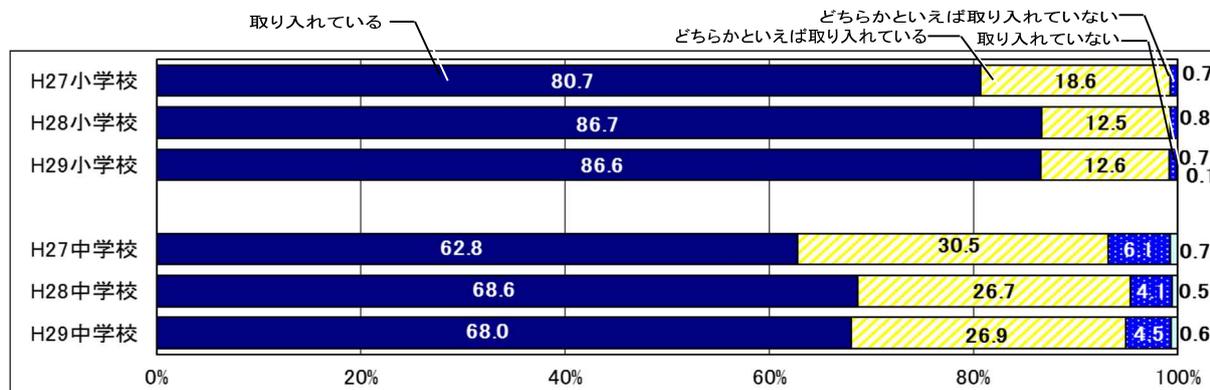
※児童生徒の回答は、
上から「当てはまる」
「どちらかといえば、当てはまる」
「どちらかといえば、当てはまらない」
「当てはまらない」の順

- ・小学校では、約9割、中学校では、約8～9割の児童生徒が肯定的な回答をしている。[グラフ 19-1]
- ・小学校と中学1年では、「授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていると思う」と回答した児童生徒の正答率は、そうでない児童生徒と比較して高い。
[グラフ 19-2]

[参考 3] ノートのまとめ方や話し合いの進め方など、学習方法についてきめ細やかに指導を行っていますか。※教師意識調査より 平成 27～29 年度の経年比較



[参考 4] 授業の冒頭で目標(めあて・ねらい)を児童生徒に示す活動を計画的に取り入れていますか。※教師意識調査より 平成 27～29 年度の経年比較



[参考 5] 授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れていますか。※教師意識調査より 平成 27～29 年度の経年比較

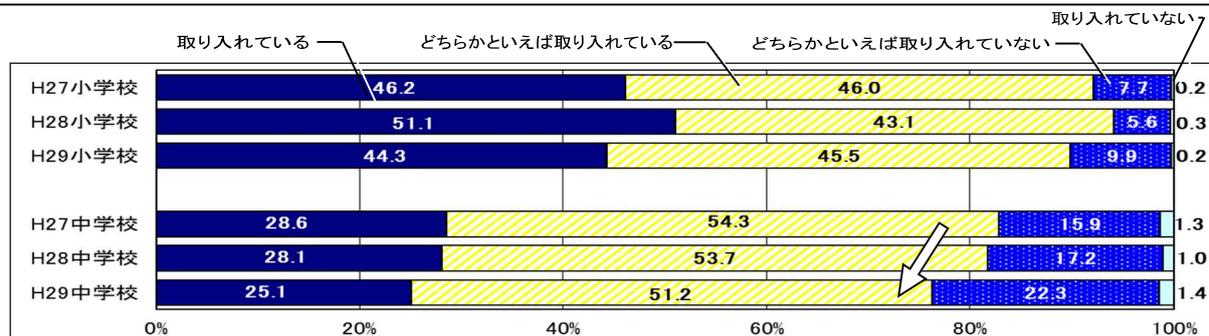


表1 各教科の学習活動に関する意識調査の経年の推移(H27→H28→H29)

各教科の質問項目に肯定的に(「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と)回答した児童生徒

番号	質問項目	小5	小6	中1	中2	中3	備考
1	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている。	↗	↗	↗	↗	↗	
2	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している。	↗	↗	↗↘	↗↘	↗	
3	国語の授業で自分の考えを書くと、考えの理由が分かるように気をつけて書いている。	↗↘	↗	↘	↗↘	↗	
4	国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいる。	↗	↗	↗	↗	↗	H29 小6、中3なし
5	社会の授業で自分が調べたり、考えたりするをはっきり分かって学習している。	↗	—	↘	↗	—	H28 から調査 小6、中3は実施していない
6	社会の授業で、自分が調べて分かったことや考えたことをもとに話し合っている(討論している)。	↗↘	—	↗	↗	—	小6、中3は実施していない
7	社会科の授業で、調べて分かったことや考えたことを自分でまとめ、ノートやワークシートなどに書いている。	↗	—	↗	↗	—	H28 から調査 小6、中3は実施していない
8	算数(数学)の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える。	↗	↗	↗	↗	↗	
9	算数(数学)の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけ(根拠)を理解するようにしている。	↗	↗	↘↗	↗	↘↗	
10	算数(数学)の授業で、問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている。	↗	↗	↘↗	↗↘	↘↗	
11	理科の授業で、自分が何を調べるのかははっきり分かって観察や実験を行っている。	↗	—	↗↘	↗	—	小6、中3は実施していない
12	理科の授業で、自分で考えたことを図や言葉(文)で表したり、友達と話し合ったりしている。	↗	—	↘↗	↗	—	小6、中3は実施していない
13	理科の授業で学習したことを普段の生活に生かせないか考えたり、学習したことが生かされているものを、身の回りから見つけたりしている。	↗	—	↗	↗↘	—	小6、中3は実施していない
14	英語の授業で、与えられたテーマについて、英語で簡単なスピーチをすることは好きだ。	—	—	—	↘↗	—	小5、小6、中1、中3は実施していない
15	英語の授業で、身近な話題について自分の考えや気持ちなどを英語で書くことは難しいと思う。	—	—	—	↘↗	—	小5、小6、中1、中3は実施していない
16	英語の授業で英語を聞いたり読んだりするとき、大まかな流れや大切な部分をつかみながら聞いたり読んだりしている。	—	—	—	↗	—	小5、小6、中1、中3は実施していない

経年で増加している項目数 (↗)	11	7	6	11	5
経年で減少している項目数 (↘)	0	0	2	0	0
経年で増加し、減少している項目数 (↗↘)	2	0	2	3	0
経年で減少し、増加している項目数 (↘↗)	0	0	3	2	2

※ 小6、中3については、全国学力・学習状況調査の質問紙調査実施のため、国語、算数・数学の調査のみ実施

※ 英語の意識調査は中2のみ実施

※ 設問 15(英語)については、「当てはまらない」「どちらかといえば、当てはまらない」、つまり、難しいと思わない生徒を「肯定的」としている。